

年頭のご挨拶



和水町長 坂梨 豊昭

新年明けましておめでとうございます。平成21年の輝かしい新春をご家族おそろいでお迎えのこととお慶び申し上げます。また、町政全般にわたり町民の皆様の格別のご支援ご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。

さて、和水町が誕生して3年目を迎えました。地方財政を取り巻く厳しい情勢は相変わらず、特に大都市と地方との格差問題がまだまだ大きな焦点となっています。地方分権の推進や社会経済は大きく変化しており年々厳しくなってきました。時代の流れを見極め、柔軟に対応していくために、町の安定的な財政運営を目指していかなければならないと考えています。

和水町の昨年の出来事をふりかえりますと、電動スクーターなどを製造している

企業が我が町に進出してきました。行政分野では定住促進のため、新築住宅等に対する固定資産税の減免制度に続き、新婚さん定住促進奨励金制度を制定し、人口減少に少しでも歯止めをかけたいと思っています。教育分野では複式学級の解決策として、スクールバスを購入し菊水南小学校の児童と菊水中央小学校の児童が同じ教室で行う合同学習が始まりました。本年4月からは防災行政無線が導入され、情報の一元化や迅速化をはかり災害対策に成果をあげることができると考えています。和水町が直面している問題は滞納問題や農業者の後継者不足や鳥害獣被害、特老の建物の老朽化など様々ありますが、多くの町民の皆様方のご意見を拝聴しながら具体的方向性を決めていきたいと思っています。

そのためには、昨年と同様、行政各分野の専門委員会や会合の参加、行政懇談会など本年も町民の皆様との『対話によるまちづくり』を基本理念とし、希望あふれ人と地域が輝くまちを目指してまいります。今年も町政に対し一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。年頭のあいさついたします。



和水町議会議長
杉村 幸敏

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、ご家族お揃いで、夢と希望に満ちた輝かしい新春をお迎への事とお慶び申し上げます。町民の皆様には日頃から町政に対する暖かいご理解と絶大なご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。合併後三年目を迎え、昨年度も着実に町政発展の基礎固めが出来ました。本年度も議会議員一同、町政発展のため決意を新たに頑張る所存です。ご承知の通り現在の社会経済情勢は100年に一度といわれる金融危機に直面し、日本においても大不況が予想されています。このような状況下、和水町においては健全な財政運営を行っているところです。農業、福祉、建設関係についても町民の皆様のご意見を聞きながら前向きに取り組んでまいりたいと思えますので、町民の皆様のご協力をお願いします。また、平成23年度には、夢の新幹線が開通します。本年度は金融危機のため厳しい年が予想されます

が、議会として着実に町民の皆様の負託に

答える様、議会議員一同一生懸命努力してまいりたいと思えます。最後に町民の皆様のご健勝とご多幸を祈念し年頭のご挨拶とします。



和水町立病院長
坂本 泰雄

明けましておめでとうございます。

皆様方にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は、華やかな北京オリンピックでの日本人選手の活躍や、3人もの日本人科学者のノーベル賞受賞など明るい話題もありましたが、一般社会経済情勢は、一昨年の参議院選以来ねじれ国会が続く相次ぐ首相交替による国政の迷走、世界同時不況の影響による日本経済不況のまま新年を迎えた感じがします。

また、医療界でも、国の医療費抑制策から端を発し、公的病院の医師不足、社会の医療に対するニーズの増大などから地域医療は崩壊寸前の状態に陥っています。加えて総務省からは、公的病院改革

の名のもとに病院の採算性を最優先とした、①経営の効率化（経営黒字達成、病床利用率70%以上の目標）②再編ネットワーク化（中小病院を縮小あるいは診療所化し基幹病院へ統合する計画）③経営形態の見直し（地方公営企業法全部適用、独立行政法人化、指定管理者制度、民間譲渡等）の3項目を核とする「公的病院改革ガイドライン」が示され、自治体病院に大きな衝撃が走っております。

公的病院の改革で必要なのは採算性もさることながら、その病院の存在意義の明確化であり、わが町立病院としては、加速する高齢社会に必要不可欠な地域の病院であることを自覚し、行政・保健・福祉との緊密な連携を維持し、「地域住民の自治体病院ここにあり」という気概をもって実現可能な改革プランを策定し、明るい町立病院の未来につなぐ努力を積んでいきたいと思っております。広く住民の皆様のご意見・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

今年も皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。